

株式会社 北村製作所

***NO CHALLENGE, NO FUTURE.
KITAMURA.***

CORPORATE PROFILE

会社案内

 株式会社 北村製作所

〒950-0322

新潟県新潟市江南区両川1丁目3604番地12

TEL: 025-280-7120 (代)

FAX: 025-280-7146

www.kitamurass.co.jp





人と人をつなぎ、暮らしをつむぐための
新しいチャレンジと新しい未来を。

全社員こころを一つにして
高品質な製品づくりに挑戦。

当社は、「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念を掲げています。お客様の想像（思い）を形にし、製品とサービスで世の中と人々の暮らしを支え、明るい未来を実現する。このことを常に念頭において経営の判断基準にしています。また、当社の製品である、アルミバン、機器収容箱、特種用途自動車など、それぞれの技術的イノベーションを高め、品質の高い製品づくりとサービスに取り組み、お客様から真っ先にお声がけいただけるよう、社員一丸となって挑戦してまいります。そして、ステークホルダーから認められ、社員の持続可能な幸福と世の中の繁栄につながることを私たちの願いです。



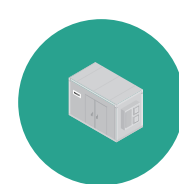
代表取締役社長
廣田利明

お陰様で当社は創立80周年を迎えることができました。
皆様方の日頃のお引き立てに深く感謝申し上げます。

BUSINESS FIELD
北村製作所の事業領域



車両事業
VEHICLE
BUSINESS



通信事業
TELECOMMUNICATIONS
BUSINESS



特殊車両事業
SPECIAL VEHICLE
BUSINESS

チャレンジを恐れな。
ともにえがこう。

1

VEHICLE BUSINESS

車両事業

最適かつ機能的な
配送車を製作

北村製作所の車両事業部は、アルミバンボデーや
パワーゲートの設計・製作・架装・販売を行っています。
受注生産に特化した生産体制のもと、
これまで数多くのトラックバンボデーを製作してきました。
現在は、小型車を中心に国内で高いシェアを誇ります。



POINT 1

お客様のニーズを実現する
製作体制

約1,500種類のオプションと豊富な
実績に裏打ちされた提案力で、ご要望
のアルミバンボデーを納入します。
安全かつ効率的な荷役作業や荷姿
には、当社のオーダーメイド設計の
バンボデーが最適です。

POINT 2

細かなご要望にも
柔軟かつ迅速に対応

打合せ・設計・製作・検査までを一貫で
行うため、各工程のスタッフが綿密に
連携しています。この連携の強さが、
当社ならではのスピード感をもって
お客様のご要望にあう提案ができる
所以です。また、全国各地のサービス
工場と連携し、バンボデーの修理・
メンテナンスなどのアフターフォロー
を行っています。

POINT 3

保安基準を適合判定できる
検査設備を保有

商談時から国の保安基準に適合
するよう、徹底した設計検討を行い
ます。製品完成後は、「安定傾斜角度
測定」、「重量測定」、「実車による漏水
試験」など、徹底した品質検査を
自社工場内で実施し、製品を出荷して
います。

活躍するキタムラの配送車



主な配送車カテゴリ

個口宅配車
小口配送車
引越配送車

WEB SITE

車両事業の製品案内

<https://www.kitamurass.co.jp/products/specially-equipped-vehicle/summary/>



PRODUCTS

01 リンボーバン



02 ルーフスライダー



03 フォールディングドア



04 冷凍車



05 オーバースライドドア



06 ベンチレーションバン



07 インステップバン



08 ワイヤレスキー



09 引き戸バン



10 給食配送車



11 ウイングボデー



12 ハーフウィング



13 ペットリフト



14 オートレベルリフト



15 引き出しリフト



16 スライドフォルダーリフト



当社は、お客様の「こういうモノを運びたい」という声に寄り添い、新しい視点や発想から解決策を模索し、最適なアルミバンボデーをカタチにしてきました。

例えば、自在に車高の高さを上下調整できる「リンボーバン」は、ビルの搬入口の高さ制限にお困りだったお客様の声に応えたものです。ビルに入るときは低く、荷役作業の時は高くして作業効率を上げられる画期的なボデーは、その後も車高調整がスムーズにできるよう性能をブラッシュアップ。こうした要望に応える製品づくりは私たちの信条であり、お客様からの信頼につながっています。

また、夏場のボデー内作業での熱中症を予防したいお客様のために、外気を取り込み庫内空気を循環させる「ベンチレーションバン」を製作しました。本来は密封空間にすべきボデー庫内に外気を取り入れるという逆転の発想で開発スタート。試行錯誤を繰り返し、ボデーの四方上部にスリット式ベンチレーションを設けて外気を常時ボデー庫内に通し、温度・湿度とも下げることに成功しました。

お客様の多様なニーズに応じて一台一台をオーダーメイドで設計・製作することで、私たちは日本の物流を支えています。お客様とともに、社会とともに—その姿勢はこれからも変わりません。



モノを運び、人に届ける
物流業界を支えています。

1
EPISODE 1

2

TELECOMMUNICATIONS BUSINESS

通信事業

大切な機器を守る

北村製作所の通信事業部は、大切な機器を周囲環境から守る機器収容局舎（シェルター・コンテナ・エンクロージャ）を製作しています。提案から設計・製作・設置後のメンテナンスまで自社一貫体制で行っており、エネルギー、交通、防災、環境、情報通信など、多様な社会インフラ分野を支える製品づくりに取り組んでいます。



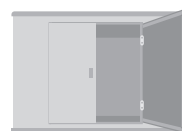
POINT 1



**32,000件以上の局舎の
納入実績**（全国47都道府県）

通信・放送・交通・再エネ・水素・蓄電池・受変電設備、観測・監視設備など、あらゆる分野で豊富な納入実績を有しています。多雪地帯から塩害の影響を受けやすい沿岸部・離島まで、多様な環境に適応する製品を全国に提供してきました。

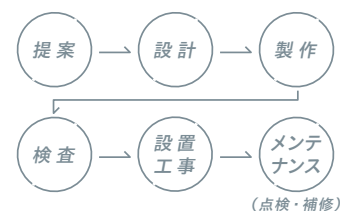
POINT 2



**軽量・高断熱・高気密な
アルミ製局舎**

断熱ボードをアルミ板で挟みこんだサンドイッチパネル構造。軽量でありながら高い強度を備え、高気密・高断熱で耐候性にも優れています。収容機器のサイズ・レイアウト、設置場所や搬入条件などに対し、最適なソリューションをご提案します。

POINT 3



**提案から施工・アフター
フォローまで安心の一貫体制**

提案・設計・製作・検査・施工・メンテナンスまでを自社で行う一貫体制により、フレキシブルな対応とスムーズな製作・納入が可能です。設置後もサポートします。

POINT 4



全国に広がる営業拠点

当社は北海道から九州まで全国規模で営業拠点を展開し、そのネットワークを活かして沖縄・離島を含め全国各地へスピーディーに対応します。きめ細やかなサービス体制で、全国のお客様のニーズにお応えします。

POINT 5



充実のメンテナンス体制

専門スタッフが局舎のメンテナンスを行います。新設時の設置・組立から、運用後の局舎本体の点検、補修、改造工事、空調機等の付帯設備の更新まで、一貫して対応します。自社製品だけでなく他社製品のメンテナンス実績も豊富で、確かな技術が高く評価されています。

WEB SITE

通信事業の製品案内

<https://www.kitamurass.co.jp/products/shelter/summary/>



事業所一覧

<https://www.kitamurass.co.jp/company/office/>



PRODUCTS

01 携帯電話用



02 放送用



03 ケーブルテレビ用



04 鉄道用（列車無線用）



05 水位雨量観測・警報局用



06 農業水利用



07 防災無線用



08 大気観測・モニタリング用



09 太陽光発電用



10 風力発電所用



11 蓄電システム用



12 水力発電所用（電気室）



13 水素製造装置用
環境省委託事業
「地域連携・低炭素水素技術実証事業」



14 受変電設備用



15 高速道路用
（スマートIC管理施設）



16 航空用（ILS用）



17 設置工事
工場組立完成型



現地組立型



分割搬入型



18 シェルター全面改修



2 EPISODE 2

社会のインフラを守る責任と使命を果たします。

バンボーダー製作で培った技術やノウハウをベースに、当社は1995年に通信関連機器を収容し保護する局舎・シェルターの製作・販売に乗り出しました。お客様の要望をカタチにするという北村イズムを発揮して、この事業でもお客様の多岐にわたる課題に応じてきました。

特に、通信大手の携帯電話基地局用の局舎は、1990年代後半から開発・設計・製作・設置を行い、多くの実績を積んできました。屋根や壁面に使用するサンドイッチパネルの品質向上に力を注ぎ、軽量・高断熱・高気密で、塩害や雪害対策仕様など過酷な環境に適応する局舎製作も可能にしました。

東日本大震災が契機となり、再生可能エネルギーが注目を集め、太陽光発電のパワーコンディショナを収容する局舎ニーズが生まれました。その後、私たちは蓄電池や監視装置用収容箱などの製作へも対応範囲を拡大。人々の生活を支える大切な機器に最適な環境を提供し、社会に貢献したいと考えています。情報・通信、エネルギー、交通・物流、防災・災害対策など多様化するインフラ分野のニーズに応えるため、私たちは製品・サービスの対応領域を拡充してきました。

これからも社会や技術の変化を見据え、これまで積み重ねてきた経験と知見を活かし、社会インフラを支えていきます。



3

SPECIAL VEHICLE BUSINESS

特殊車両事業

お客様の“行いたい” をかなえる 特種用途自動車

北村製作所の特殊車両事業部は、お客様が行う業務の専用機器・設備を搭載した、車両を設計・製作しています。当社が製作した各々の特種用途自動車が、「作業をする、供給する、救助する、検査・測定する、利用してもらう、見てもらう」を実現します。それがお客様へ提供する、私たちの価値です。



移動店舗車

POINT 1



高度な要求に応える 技術力

『軽量化技術』、『搬送技術』、そして『電気制御技術』が当社にはあります。それは、特装車だけでなく、機器収容局舎や産業用洗浄装置の製作も手がけてきた経験と技術が当社の特種用途自動車製品に活かされています。

POINT 2



オーダーメイドの特種用途 自動車でも量産に対応

専任の技術部門、豊富な経験をもつ製造部門、そして品質維持を担う検査部門。これら部門間の連携が、フルオーダーメイドである特種用途自動車の量産を可能にしています。

POINT 3



保安基準を適合判定できる 検査設備を保有

あらゆる特種用途自動車を製作してきた経験をもとに、提案段階から保安基準適合を念頭とした、調査・検討を繰り返して行います。完成後は、「安定傾斜角度測定」、「重量測定」、「実車による防水試験」など、徹底した品質検査を自社工場内で実施。安全で機能的な製品をお客様に届けています。

POINT 4



北海道から沖縄まで 全国対応のアフターサービス

全国各地に提携工場を配置。修理・メンテナンス・部品交換など、迅速な対応が可能です。工場へのお持ち込みはもちろん、必要に応じて営業・設計担当が現地へ訪問し、車両の状態や使用環境を確認のうえ、最適なサービスを提案します。

主な納入先業種

- 官公庁／自治体・学校／教育機関
- 研究機関
- 放送／メディア
- 電力会社
- ガス会社
- 通信会社
- ネットワーク／通信設備会社
- 鉄道会社
- 道路／交通インフラ関連
- 電機メーカー
- 産業機械メーカー
- 精密機械メーカー
- 電気工事／設備工事会社
- 商社
- 金融機関
- 小売会社

WEB SITE

特殊車両事業の
オーダーメイド事例
<https://www.kitamurass.co.jp/products/special-purpose-vehicle/cases/>



特殊車両事業のブログ
<https://www.kitamurass.co.jp/products/special-purpose-vehicle/blog/>



PRODUCTS

災害・イベント用途

01 衛星通信車



02 電源車



03 災害救援車



04 消防向け資機材搬送車



05 中継支援車



06 調剤支援車



検査・測定用途

07 トラック型検診・検査車両



08 大気環境測定車



09 ワンボックス型
大気環境測定車



販売促進・各種サービス用途

10 移動ATM車



11 拡幅型移動店舗車



12 移動展示車



その他用途

13 可搬自立式コンテナ



14 道路維持作業車



15 工事現場支援車



特殊車両事業は、東日本大震災を契機に高まった災害対応や社会インフラの維持に関わる車両ニーズを受け、事業を開始しました。電源車や移動基地局車、放射線測定車などの製作を通じて、社会に求められる車両を形にしてきた経験が、現在の事業につながっています。

当初は通信インフラや災害対策関連の車両が中心でしたが、用途や搭載機器に関するさまざまなご相談に応えるなかで、消防向け資機材搬送車、移動店舗車、工事現場支援車などへと製作分野を広げてきました。

私たちが製作する特種用途自動車は、オーダーメイドであるため、1台ごとに用途や求められる機能が異なります。そのため、お客様との対話を重視し、課題や目的を整理しながら、架装メーカーとしての知見を活かして最適な車両を提案しています。

使いやすさや安全性、導入後の使われ方まで見据えた車両づくりを通じて、これからもお客様の課題に向き合い、社会の変化に応じた特種用途自動車で課題解決に貢献します。



3
EPISODE 3
社会に必要な車両を、
一台ごとにつくります。